

日商簿記3級 習熟度確認テスト

【 問題用紙・答案用紙 】

現在の日商簿記3級の習熟レベルを判定する確認テストをご用意いたしました。

本試験と同じく、全3問構成(制限時間60分)となっておりますので、本PDFデータをご出力いただき、ぜひご自身で時間を計った上で、問題に挑戦してみてください。

解き終わりましたら、別途掲載している模範解答PDFより、採点いただき、3級の学習方法や2級学習へのステップアップなど今後の学習にお役立てください。

TAC簿記検定講座

実際の統一試験・ネット試験では、第1問(仕訳問題)については、解答する勘定科目は記号もしくはプルダウンでの選択方式になります。
本用紙では解答の便宜上、(選択勘定科目)として列挙しております。

第1問

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、(選択勘定科目)の中から最も適切と思われるものを選び、記入すること。なお、消費税については指示がある問題のみ考慮し、各取引は独立しているものとする。

1. 得意先である山形㈱に対する売掛金¥2,200,000につき、¥900,000は同社振出しの約束手形で回収し、残高は当座預金口座に入金済みの連絡を受けた。

(選択勘定科目) 現金・当座預金・受取手形・売掛金・支払手形・売上

借方科目	金額	貸方科目	金額

2. 株主総会において、前期より繰り越された繰越利益剰余金¥780,000を次のように配当・処分することが決定した。なお、残高は次期の剰余金の処分まで繰り越すことにした。

株主に対する配当金：460,000円

利益準備金の積立額：46,000円

(選択勘定科目) 当座預金・未払配当金・資本金・利益準備金・繰越利益剰余金・損益

借方科目	金額	貸方科目	金額

3. 商品¥350,000を仕入れ、代金のうち¥125,000は注文時に支払った手付金と相殺し、残額は掛けとした。

(選択勘定科目) 現金・前払金・仮払金・買掛金・未払金・仕入

借方科目	金額	貸方科目	金額

4. 前期の決算において未収利息¥36,000を計上していたので、本日(当期首)、再振替仕訳を行った。

(選択勘定科目) 未収利息 ・ 未払利息 ・ 繰越利益剰余金 ・ 受取利息 ・ 支払利息 ・ 損益

借方科目	金額	貸方科目	金額

5. 建物の改築と修繕を行い、代金¥8,880,000を普通預金口座から支払った。そのうち建物の資産価値を高める支出額(資本的支出)は¥6,660,000であり、残額は建物の現状を維持するための支出額(収益的支出)であった。

(選択勘定科目) 現金 ・ 普通預金 ・ 建物 ・ 資本金 ・ 修繕費 ・ 減価償却費

借方科目	金額	貸方科目	金額

6. 事務所に使っていた建物の一室の賃借契約を解除し、契約時に支払った敷金¥390,000から、原状回復のための費用¥72,000を差し引かれた残額が、C銀行の当座預金口座に振り込まれた。

(選択勘定科目) 当座預金C銀行 ・ 建物 ・ 差入保証金 ・ 預り金 ・ 修繕費 ・ 支払家賃

借方科目	金額	貸方科目	金額

7. 本日、社会保険料¥460,000を当社の普通預金口座からの振り込みにより納付した。納付額のうち、半額は給料支払い時に従業員より預かった従業員負担分であり、残額は当社負担分である。

(選択勘定科目) 現金 ・ 普通預金 ・ 従業員立替金 ・ 社会保険料預り金 ・ 給料 ・ 法定福利費

借方科目	金額	貸方科目	金額

8. ×2年3月31日、決算において、支払利息の確認を行ったところ、当期借入れ分の利息が計上されていないことが判明した(会計期間は1年)。当期の借入れは、借入日×1年11月1日、借入金額3,000,000円、利率年1.2%、借入期間1年、元利一括返済である。よって、決算日までの利息未払分を月割計上により計上する。

(選択勘定科目) 現金・前払利息・未収利息・借入金・未払利息・支払利息

借方科目	金額	貸方科目	金額

9. 月末に金庫を実査したところ、紙幣¥35,000、硬貨¥5,250、得意先振出しの小切手¥120,000、約束手形¥50,000、郵便切手¥800が保管されていたが、現金出納帳の残高は¥158,250であった。不一致の原因を調べたが原因は判明しなかったため、現金過不足で処理することにした。

(選択勘定科目) 現金・現金過不足・受取手形・雑益・雑損・通信費

借方科目	金額	貸方科目	金額

10. 得意先新潟(株)に期間8か月、年利率4%で¥600,000を借用証書にて貸し付けていたが、本日満期日のため利息とともに同店振出しの小切手で返済を受けたので、ただちに当座預金に預け入れた。

(選択勘定科目) 当座預金・貸付金・手形貸付金・未収利息・受取利息・償却債権取立益

借方科目	金額	貸方科目	金額

11. 期末の現金実際有高は¥329,000である。現金の期末帳簿残高¥326,000との差額は、出張旅費の精算時に受け取った残額であったことが原因と判明した。なお、この出張にあたり旅費の概算額¥26,000を支払っており、精算の処理が未記帳となっている。

(選択勘定科目) 現金 ・ 現金過不足 ・ 仮払金 ・ 仮受金 ・ 旅費交通費 ・ 雑損

借方科目	金額	貸方科目	金額

12. 得意先より注文を受けていた商品¥700,000を引き渡し、代金のうち¥300,000は注文時に受け取っていた手付金と相殺し、残額はクレジットカード利用による処理を行った。クレジットカード利用代金の2%をクレジット手数料として販売時に計上する。

(選択勘定科目) 売掛金 ・ クレジット売掛金 ・ 前受金 ・ 売上 ・ 受取手数料 ・ 支払手数料

借方科目	金額	貸方科目	金額

13. 売掛金の代金¥80,000を現金で受け取った際に、次の仕訳を行っていたことが判明したので、適切に修正する。

(借方) 現金 80,000	(貸方) 前受金 80,000
----------------	-----------------

(選択勘定科目) 売掛金 ・ 前払金 ・ 未収入金 ・ 買掛金 ・ 前受金 ・ 貸倒損失

借方科目	金額	貸方科目	金額

14. 新潟㈱は業務用目的でノートパソコンを購入し、据付作業ののち、次の請求書を受け取り、代金は後日に支払うこととした。

請 求 書			
新潟㈱ 御中		佐賀電機株式会社	
品 物	数 量	単 価	金 額
業務用ノートパソコン	20台	¥ 120,000	¥ 2,400,000
配送料	—	—	¥ 40,000
据付費用	—	—	¥ 80,000
合 計			¥ 2,520,000

×2年6月30日までに合計額を下記口座へお振り込みください。
九州銀行佐賀支店 普通 1234567 サガデンキ(カ)

(選択勘定科目) 普通預金 ・ 備品 ・ 買掛金 ・ 未払金 ・ 仕入 ・ 支払手数料

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

15. 以下の領収証書にもとづき、青森㈱は×2年11月に普通預金口座より納付した。

領 収 証 書			
税目		本 税	¥430,000
	法人税	重加算税	
		加算税	
住 所	青森県××市○○	利子税	
氏 名	青森㈱	延滞税	
		合計額	¥430,000
		納期等の区分 ×20401～×30331 中間申告 確定申告	
		×2年11月×日 (出納印)	

(選択勘定科目) 現金 ・ 普通預金 ・ 仮払法人税等 ・ 未払法人税等 ・ 租税公課 ・ 法人税等

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

第2問

(1)

当社は×1年4月1日に設立されており、すでに第3期まで経過している。下記の資料にもとづき、第2期、第3期および第4期期首の繰越利益剰余金勘定を完成しなさい。

第1期 (×1年4月1日～×2年3月31日)
決算(3月31日)において、当期純利益¥3,000,000を計上した。 なお、第1期には配当を行っていない。
第2期 (×2年4月1日～×3年3月31日)
6月23日に開催された株主総会において、繰越利益剰余金残高から次のように処分することが決議された。 ・株主配当金 ¥600,000 ・配当に伴う利益準備金の積立て ¥60,000 6月26日に、株主配当金¥600,000を普通預金口座から支払った。 決算(3月31日)において、当期純利益¥2,000,000を計上した。
第3期 (×3年4月1日～×4年3月31日)
6月25日に開催された株主総会において、繰越利益剰余金残高から次のように処分することが決議された。 ・株主配当金 ¥800,000 ・配当に伴う利益準備金の積立て ¥80,000 6月28日に、株主配当金¥800,000を普通預金口座から支払った。 決算(3月31日)において、当期純利益¥2,400,000を計上した。
第4期 (×4年4月1日～×5年3月31日)
4月1日に開始記入を行った。

(語群)	普通預金	資本金	利益準備金
	損	前期繰越	次期繰越

繰越利益剰余金

×2/6/23	未払配当金	()	×2/4/1	() ()
×2/6/23	()	()	×3/3/31	() ()
×3/3/31	()	()		/
		()		()
×3/6/25	未払配当金	()	×3/4/1	() ()
×3/6/25	()	()	×4/3/31	() ()
×4/3/31	()	()		/
		()		()
			×4/4/1	() ()

(2)

以下の各文章につき、もっとも妥当と思われる用語を一つ選択しなさい。なお、8. については、適切な算式を一つ選択すること。

1. 帳簿には主要簿と補助簿がある。以下のうち、主要簿にあたるものはどれか。

(語群) 現金出納帳 ・ 売上帳 ・ 仕入帳 ・ 総勘定元帳 ・ 貸借対照表

2. 補助簿の商品有高帳に記入する際、「先入先出法」「移動平均法」のどちらを採用しても必ず同じものはどれか。

(語群) 月末商品単価 ・ 当月商品払出合計額 ・ 月末商品在庫数量 ・ 商品原価前月繰越額

3. 以下のうち、次期の期首に再振替仕訳を行うものはどれか。

(語群) 未払金 ・ 未払消費税 ・ 未払法人税等 ・ 未払費用 ・ 未払配当金

4. 以下のうち、「貸借対照表」の資産の部に記載されるものはどれか。

(語群) 売上 ・ 貸倒引当金繰入 ・ 現金過不足 ・ 当座借越 ・ 減価償却累計額

5. 簿記上の取引において現金勘定で処理しないものはどれか。

(語群) 紙幣 ・ 他社振出小切手 ・ 硬貨 ・ 送金小切手 ・ 他社発行の商品券

6. 以下のうち、「損益計算書」に記載されないものはどれか。

(語群) 売上高 ・ 貸倒引当金繰入 ・ 前払保険料 ・ 給料 ・ 法人税等

7. 以下のうち、必ず「残高試算表」の借方に記載される科目はどれか。

(語群) 貸倒引当金 ・ 現金 ・ 現金過不足 ・ 当座預金 ・ 買掛金

8. 以下のうち正しい算式はどれか。

(ア) 収益－負債＝純利益

(イ) 資本＋資産＝収益

(ウ) 収益－費用＝資本

(エ) 費用＋純利益＝収益

第3問

次の〔決算整理前残高試算表〕と〔決算整理事項等〕にもとづいて、貸借対照表および損益計算書を完成しなさい。なお、会計期間は×1年4月1日から×2年3月31日までの1年間である。

〔決算整理前残高試算表〕

決算整理前残高試算表

×2年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
2,222,200	現 金	
1,847,500	当 座 預 金	
900,000	受 取 手 形	
1,192,000	売 掛 金	
	貸 倒 引 当 金	6,000
543,000	繰 越 商 品	
555,500	仮 払 消 費 税	
3,600,000	備 品	
	減 価 償 却 累 計 額	1,200,000
	買 掛 金	678,200
	仮 受 消 費 税	1,243,000
	借 入 金	1,000,000
	資 本 金	4,000,000
	利 益 準 備 金	800,000
	繰 越 利 益 剰 余 金	125,000
	売 上	12,430,000
	受 取 手 数 料	506,200
5,555,000	仕 入	
3,909,400	給 料	
480,800	通 信 費	
1,125,000	支 払 家 賃	
22,000	租 税 公 課	
36,000	保 険 料	
21,988,400		21,988,400

〔決算整理事項等〕

- 郵便切手¥10,000および収入印紙¥3,000の期末未使用分があり、貯蔵品勘定に振り替える。なお、郵便切手および収入印紙は、購入時にそれぞれ通信費勘定、租税公課勘定で処理している。
- 当座預金口座に売掛金の振込み¥92,000があったが、この取引の記帳がまだ行われていなかった。
- 受取手形および売掛金の期末残高に対して、2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
- 期末商品棚卸高は¥600,000である。
- 備品について定額法(残存価額ゼロ、耐用年数6年)で減価償却を行う。
- 消費税の処理(税抜方式)を行う。
- 決算整理前残高試算表の保険料¥36,000は、当期の×1年11月1日に向こう1年分を支払ったものである。
- 決算整理前残高試算表の借入金¥1,000,000は、当期の×2年1月1日に年利率6%(期間1年)で借り入れたものであり、利息は元金とともに返済時に支払うことになっている。利息の計算は月割りによる。
- 当期の利益に対する法人税、住民税及び事業税を¥375,000計上する。なお、中間納付は行っていない。

貸借対照表

×2年3月31日

(単位：円)

資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金	2,222,200	買 掛 金	678,200
当 座 預 金	()	借 入 金	1,000,000
受 取 手 形	900,000	未 払 消 費 税	()
貸 倒 引 当 金	(△) ()	未 払 法 人 税 等	()
売 掛 金	()	() 費 用	()
貸 倒 引 当 金	(△) ()	資 本 金	4,000,000
商 品	()	利 益 準 備 金	800,000
貯 蔵 品	()	繰 越 利 益 剰 余 金	()
() 費 用	()		
備 品	3,600,000		
減 価 償 却 累 計 額	(△) ()		
	()		()

損益計算書

×1年4月1日～×2年3月31日

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
()	()	()	()
給 料	3,909,400	受 取 手 数 料	506,200
通 信 費	()		
支 払 家 賃	1,125,000		
租 税 公 課	()		
保 険 料	()		
貸 倒 引 当 金 繰 入	()		
減 価 償 却 費	()		
支 払 利 息	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
()	()		
	()		()